

保幼小中一貫教育だより ～豊かな自然と豊かな人材で豊かなこどもを育てる～



豊能の風

発行：豊能町教育委員会 第125号 R6.10.4

「ループリック評価」を活用した授業づくり ～児童が自ら学ぼうとする意欲を高めるために～ 豊能町立光風台小学校

光風台小学校は、令和6年度大阪府教育庁「スクール・エンパワーメント推進事業」豊かな学びをはぐくむ学校づくり推進校の指定を受け、学力向上の取り組みを進めています。

9月19日(木)に児童が自ら学ぼうとする意欲を高めるために研究を進めてきた、「ループリック評価」の取り組みを発表しました。「ループリック評価」とは、教師と児童が共有するめざす姿をもとに、段階的に評価を行う方法です。ループリックは、評価の仕方が児童にもわかりやすく、児童の学習意欲を向上させるための有力なツールと考えられています。

当日は学校の至る所に、これまでの児童の学習の成果が掲示されていました。また、玄関には、温かい看板も作成されて、「学校が一丸となって研究している姿」を感じました。

町内の学校からはもちろんのこと、遠方からも先生方が見学にいられていました。事後研究会でも、活発な議論がなされました。

校舎の中には、これまでの学習の内容がわかるように掲示が工夫されていました。「寺子屋通信」でも児童や保護者向けに学びの様子が簡潔に伝えられていました。とても読みやすいです。



絵と文章で表現しているお話の中の好きな場面。



温かいおもてなしの看板



【音楽科】
2年生：「旋律づくり」
4年生：「旋律の特徴を工夫してみよう」



【国語科】1年生：「むしとなかよくなるろう」の学習。虫の様子や特徴の発表。



とよのを知ろう とよのを学ぼう ③ 「キャリア教育」の実践

「2年生 ヤーコンの栽培から染物づくりまで」(東能勢小学校)

東能勢小学校では、子どもたちが意欲的に学べる魅力ある授業づくりをめざして、地域みなさんにご協力いただきながら、「キャリア教育」で育む力の一つ「かかわる力」を養っています。

2年生では、生活科「ぐんぐんそだて わたしのやさい」の学習で豊能町の特産品“ヤーコン”の栽培に挑戦しています。5月下旬、地域で「とよの場」として農業や町おこしの活動をされている方にゲストティーチャーとして来ていただき、ヤーコンの育て方や栄養分などについてお話を聞かせていただきました。ヤーコンは、オリゴ糖を多く含む栄養価の高い野菜で成長すると茎の高さは2mにもなるとのこと。実は2~30cmほどの大きさになり、1株に7~8個なるそうです。豊能町内の小学校給食でも、「豊能町を食べる日」に、ヤーコンをきんぴらや天ぷらなどに調理したメニューが登場しています。お話を聞かせてもらった後、とよの場さんが製造・販売されている、ヤーコンの果汁を使った「とよのサイダー」の試飲もさせていただきました。最後に一人一株ずついただいたヤーコンの苗を学習園に植え付けました。

今後、秋に収穫したヤーコンが豊能町をPRするためのお土産にできないか、児童のアイデアをもとに、とよの場さんと一緒に商品開発をしていく予定です。また、茎や葉の部分は乾燥させ、煮出した汁を染め物の原料として活用し、Tシャツやバンダナの染色をする予定です。

地域の方との学びを通して、豊能町のことを知り、豊能町を好きになり、豊能町のためにできることを考える…。子どもも大人も主体的に楽しんで活動できる協働学習を、これからも全ての学年で展開していきます。



ALT : Joey (ジョーイ) 先生の English Board (イングリッシュボード) 英語掲示板

令和6年7月末にオーストラリアから豊能町に着任されたJoey Jun Yi Lee (ジョーイ ジュンイ リー)先生の豊能町での勤務が、2か月が過ぎました。勤務校は、吉川小学校、光風台小学校、東ときわ台小学校です。初めての日本の学校での勤務にも慣れ、とても意欲的に授業に取り組んでいます。授業以外にも児童とのコミュニケーションを図ろうとしています。児童に楽しく英語に触れてもらいたい気持ちからイングリッシュボードを作成しました。これから内容もリニューアルしていくことと思います。次回のイングリッシュボードが楽しみです。



「英語ジョーク」「英語の早口言葉」「最も長い英単語(45文字)」など掲載